

公益社団法人Knots(結び目)は、「人と(ヒト以外の)動物の幸せな共生」をテーマに主に社会教育事業を行っています。Knotsが日頃お世話になっております素敵な皆さまから、メッセージを頂くシリーズです。

お話し: 柴内晶子 さん  
赤坂動物病院 院長

<http://www.akasaka-ah.com/message.html>

人と伴侶動物が共に暮らすことで双方が幸せになれることを「人と動物の絆」といいます。1970年代から世界的に提唱されてきたスローガンです。人は犬や猫と同じ空間で過ごすだけでも気持ちが柔らかくなり、心開かれ、動物の話から友人の和が広がり、社会との接点が出てくることもあります。

私は子供時代から猫を師とし、犬を見弟として育ちました(笑)。幼少期のドラマチックな体験が私の人生に圧倒的なパワーで影響を与えてくれました。(エピソードはまたいつか機会があります!)

当院の総院長でもある柴内裕子先生が、1986年に日本動物病院福祉協会(JAHA) (当時名称) 会長時代に厚生省(当時)の認可を受けてスタートしたCAPP活動(動物介在活動:アニマルセラピー)という言葉が馴染み深い)に学生時代から参加していました。その現場で高齢者の方々、お子さん、ハンディのある方々などから、動物達だからこそ

## 動物と人が社会貢献するすばらしい光景

引き出せたそれまで見られなかった行動や笑顔などを目の当たりにし「人と動物の絆のバ

ワー」を実感してきました。活動には伴侶動物医療関係者、そして伴侶動物の家族(飼主)が愛する動物達と共にボランティア参加しておられ、本当に誇らしげに活動をしてくださっています。

社会貢献している、本当に素晴らしい光景です! (伴侶動物と暮らす高齢者は2割通院回数が少ないというデータもあります。)

昨今では地球規模での気象変動による未曾有の大災害、感染症などの喫緊の問題を抱え、人と動物と自然環境の健全は人類共通の必須のテーマという観点から、人と動物の医療は一つの医療として「One Health」…ワンヘルスという考え方が広がっています。

私も伴侶動物医療の臨床現場に立つ一人として、「人と動物の絆」を心に携え、地球人のひとりととして「One Health」を実践できる獣医師であろうと思います。また、伴侶動物に「愛し」「愛される」一人ひととしても、



伴侶動物に関わるすべての皆さんが参加出来るコンベンションをお知らせします。

2018年9月29日~30日(社)日本臨床獣医学(JBVP)フォーラム20th年次大会

お子さんから大人まで「犬とのワークショップ」もあります。トリマーさんのセミナーも開催中: TEL03-3355-3979, info@jbvp.org

2018年10月6日,7日(公社)日本動物病院協会(JAHA)40周年記念年次大会市民講座もあり TEL03-6262-5252 capp@jaha.or.jp (ボランティアさん募集中)